

Premium Coating
DNT EXTRA
SERIES



戸建て住宅・アパート集合住宅の新設・改修に

(各種屋根、モルタル・窯業系サイディングボード外壁、鉄部、そのほか建築部材用 高級塗料)



地球環境への負荷軽減のために、
植物油インキを使用しています。

大日本塗料株式会社

E-8252.25.05®(EL)
(20.1)

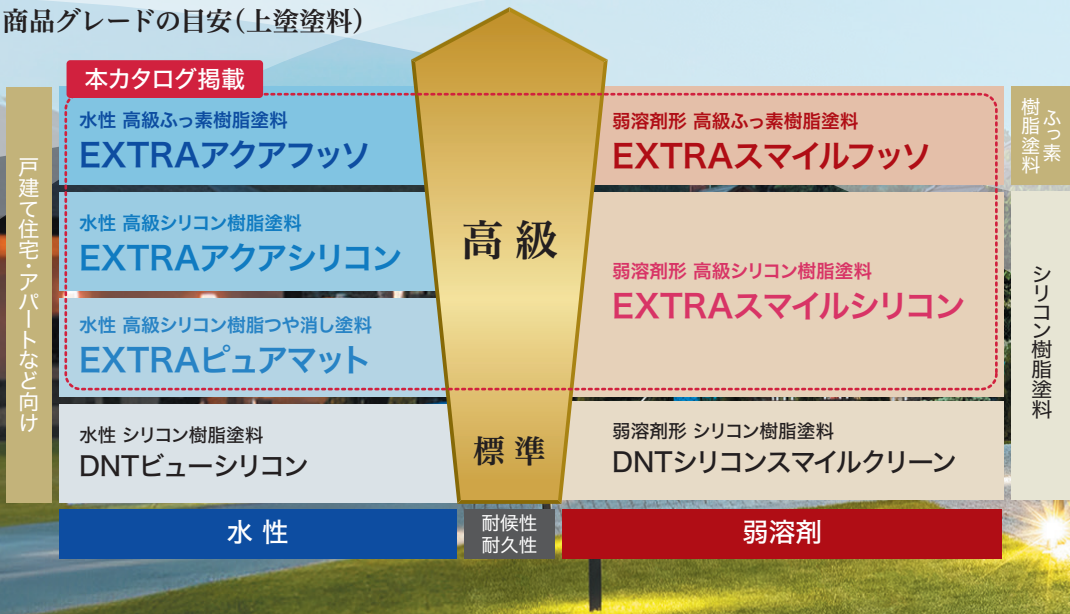
住まいの長寿命化、高外観で資産価値向上へー

DNTの高級塗料でワンランクアップしませんか？

屋根や外壁の色褪せ、藻やかび、さびの発生・・・
住まいの劣化に伴う外観変化は、基材の劣化進行も早めます。

美しい住まいを維持するために、
従来よりも高い耐候性・耐久性を持つ高グレード塗装システムをご用意しました。
新設・塗り替えにてご検討下さい。

商品グレードの目安(上塗塗料)



大事なお住まいは大丈夫ですか？
こんな症状が出たら、メンテナンスの時期です

屋根



色があせてきた

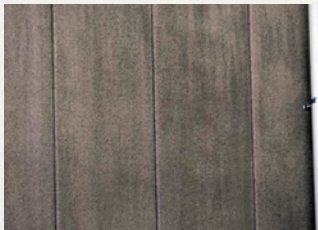


トタン屋根にさびが発生している

外壁



汚れが目立ってきた



藻やかびが発生している



塗料がはがれている



塗料が手に付く

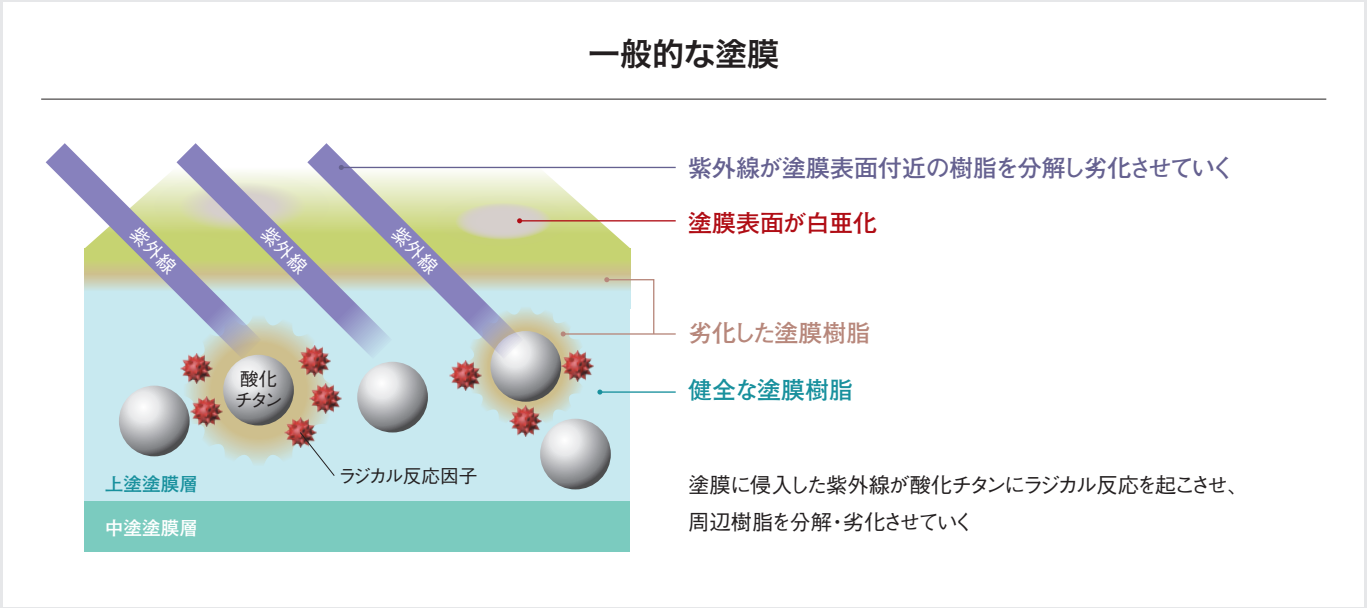
ラジカル反応制御

EXTRAシリーズが大切な住宅を護ります

EXTRAシリーズは住宅外装用建材(新設工場塗装品)納入実績トップクラスの大日本塗料がご提案する、建築用塗り替えシステムです。

Point 1 紫外線による塗膜劣化を抑制 (EXTRAトリプル構造)

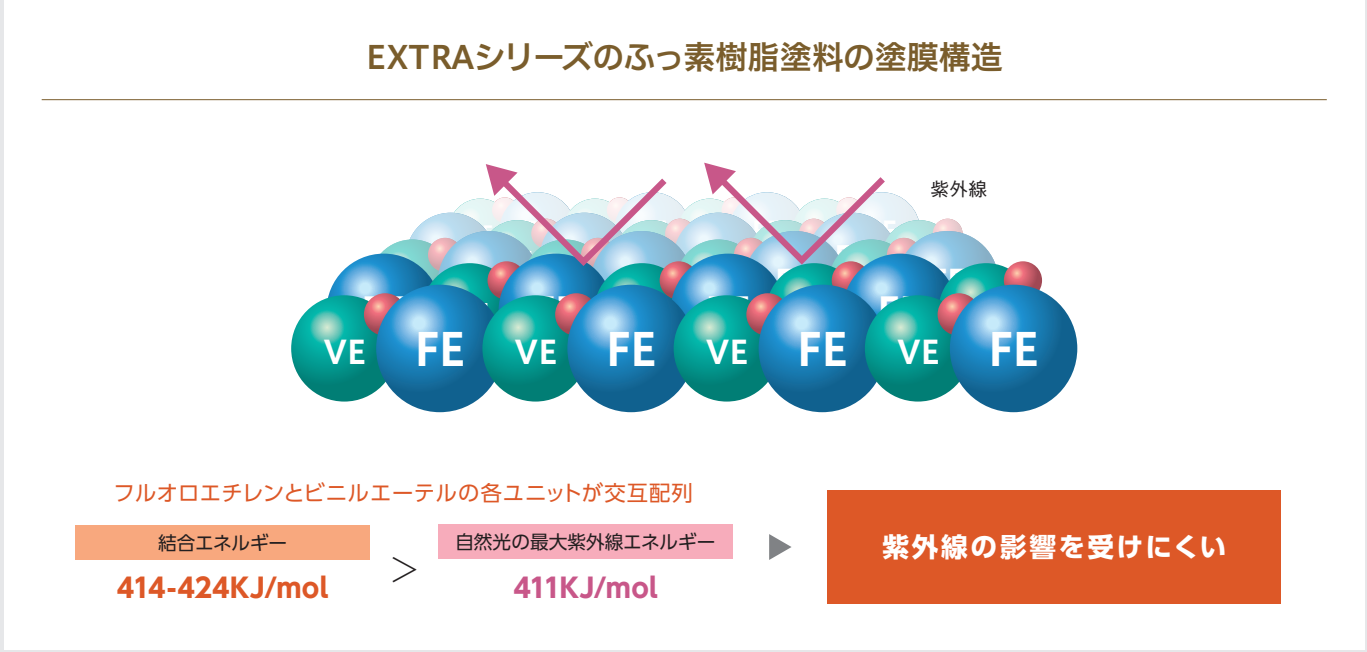
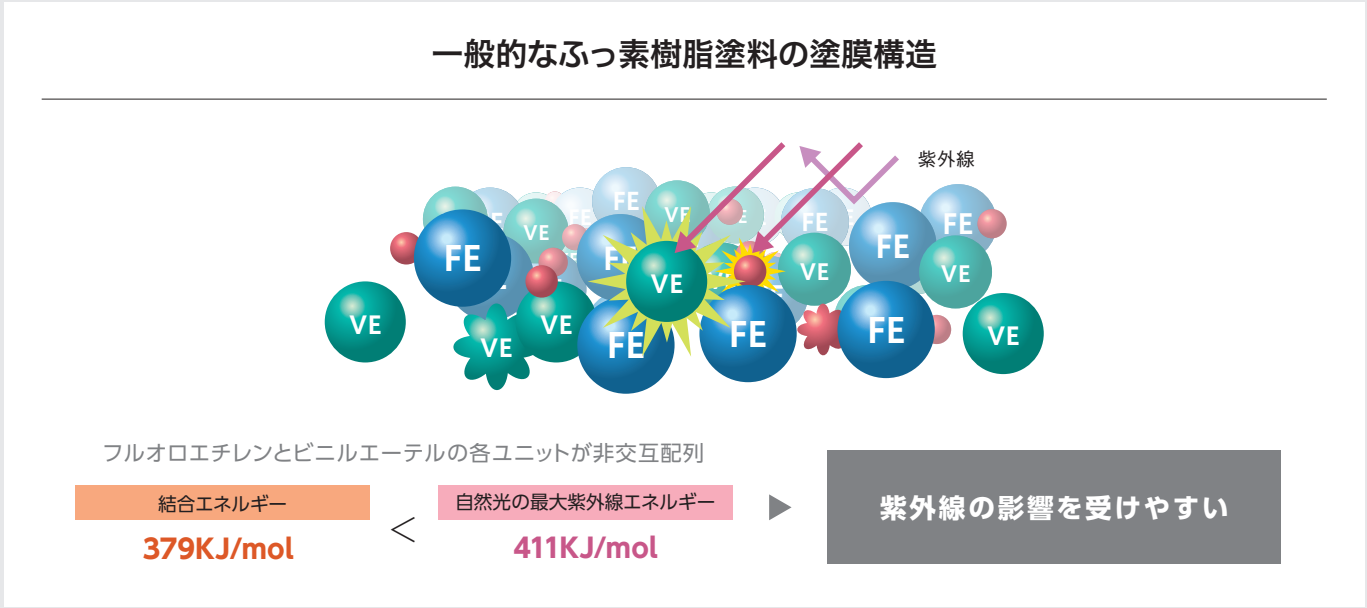
紫外線の侵入を徹底的に防ぐEXTRAトリプル構造で、塗膜劣化を防ぎます。



EXTRAトリプル構造で耐候性・耐久性が大幅にUP!

Point 2 特殊樹脂構造による超耐候性・高耐久性を実現

特殊配列により分子間の結合エネルギーが高いため、従来のふっ素樹脂塗料以上の光沢保持率を有しています。



外壁の種類と劣化メカニズム

外壁はモルタル壁・サイディングボードなど様々な種類があります。
素材や素材の表面仕上げによって塗装仕様の選定が必要です。

外壁の塗り替え用 EXTRAシリーズ



モルタル外壁の劣化メカニズム



モルタル壁



モルタル外壁断面層 (イメージ)



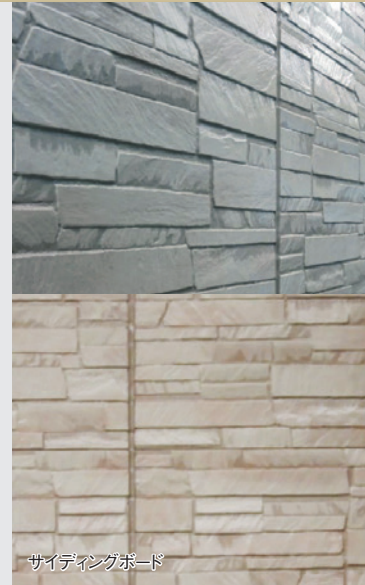
- 紫外線や雨水による表層からの塗膜劣化で摩耗し、紫外線の影響で表層から白亜化が起きる。
- 下塗り層にまで劣化が進行し、基材に水分などが入り亀裂などが生じる。さらに亀裂に藻やかびなどが浸食する。



素材(モルタル)の中に藻やかびが発生すると、塗り替え後も膨れ・はがれが発生しやすくなります。
早めの塗り替えをお勧めします！

エナメル仕上げ

サイディングボード外壁の種類と劣化メカニズム



サイディングボード

建築外壁のサイディングボードには標準タイプ・高意匠タイプ・金属系タイプがあり、塗り替え時期・塗り替え仕様も異なります。



- クリヤー層がエナメル層を保護する。
- 日光や雨水などのダメージを受けクリヤー層が減ってくる。

超耐候性ふっ素樹脂塗料
EXTRAスマイルフツソ
高耐候性シリコン樹脂塗料
EXTRAスマイルシリコン

優れた塗膜性能

<EXTRAスマイルフツソ・EXTRAアクアフツソ>
特殊配列により分子間の結合エネルギーが高いため、弱溶剤形・水性共に従来のふっ素樹脂塗料以上の光沢保持率を有しています。
<EXTRAスマイルシリコン・EXTRAアクアシリコン>
厳選したシリコン樹脂を使用しているため、弱溶剤形・水性共に従来のふっ素樹脂塗料並みの光沢保持率を有しています。

各種基材への適用が可能

下塗りに「EXTRA万能スマイルシーラー®」又は「EXTRA万能アクアシーラー®」を用いることで、サイディングボード(高耐候性基材)やアルミニウム・ステンレス・ガルバリウム鋼板・FRPなどの各種基材にも適用可能になります。
※「マイティー万能エポシーラー」、「マイティー万能水性シーラー」もご使用いただけます。

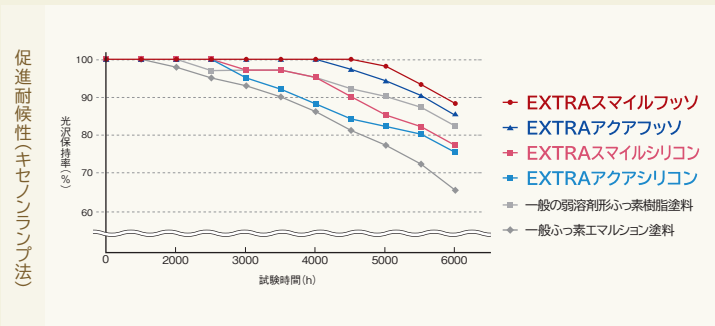
幅広い塗り重ね適性

弱溶剤形は、塗料用シンナーで希釈するため、下地を侵すことがほとんどなく、各種下塗りおよび各種旧塗膜に対する付着性に優れています。

汚れにくく、美しい外観を保持

低汚染性に優れ、防かび・防藻性を有するため、建物を長期間美しく護ります。また、レベリング性にも優れているため、美しいつやが得られます。

超耐候性ふっ素樹脂塗料
EXTRAアクアフツソ
高耐候性シリコン樹脂塗料
EXTRAアクアシリコン



期待耐用年数	製品種別	期待耐用年数		
		10年	15年	20年
期待耐用年数	EXTRAスマイルフツソ EXTRAアクアフツソ	→		
	EXTRAスマイルシリコン EXTRAアクアシリコン	→		
	一般の弱溶剤形ふっ素樹脂塗料	→		
	一般のシリコン樹脂塗料	→		

水性 高耐候性シリコン樹脂つや消し塗料
EXTRAピュアマット

EXTRAピュアマットはつやの無いマットな風合いを実現できる高耐候性シリコン樹脂塗料です。

純粋なつや消し

“つやが無い” 純粋なつや消しを実現するため、顔料を厳選したオリジナル配合をしておりますので、美しいマットな質感が得られます。

汚れにくく、美しい外観を保持

低汚染性に優れ、防かび・防藻性を有するため、建物を長期間美しく護ります。また、レベリング性にも優れているため、つやムラを軽減でき、美しい仕上がり外観が得られます。

優れた耐候性

EXTRAシリーズの高耐候性樹脂を配合しているため、優れた耐候性を有しています。また、EXTRAトリプル構造で塗膜劣化を防ぎます。



屋根の種類と劣化メカニズム

新生屋根編

塗装仕上げの新生屋根、銅板(カラートタン・折板)屋根は、それぞれ適正時期に塗り替えが必要です。

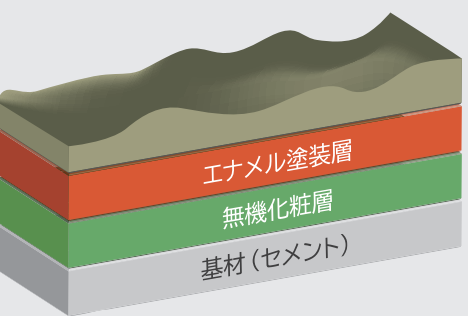
屋根の塗り替え用 EXTRAシリーズ



こんな症状が出てくる前に、メンテナンスを行いましょう！

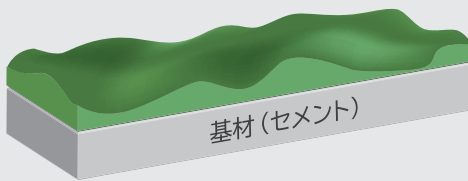
新生屋根の劣化メカニズム

経年劣化(初期)



- 紫外線や雨水による表層からの塗膜劣化でクリヤー塗装層が摩耗し、徐々にエナメル塗装層への劣化影響が大きくなってくる。

経年劣化(進行期)



- エナメル塗装層にまで劣化が進行し、基材(セメント)が脆弱化する。
- 外観上では変退色が起きている。



実際の塗り替えは、この時点で行うケースが多いのでご注意ください！

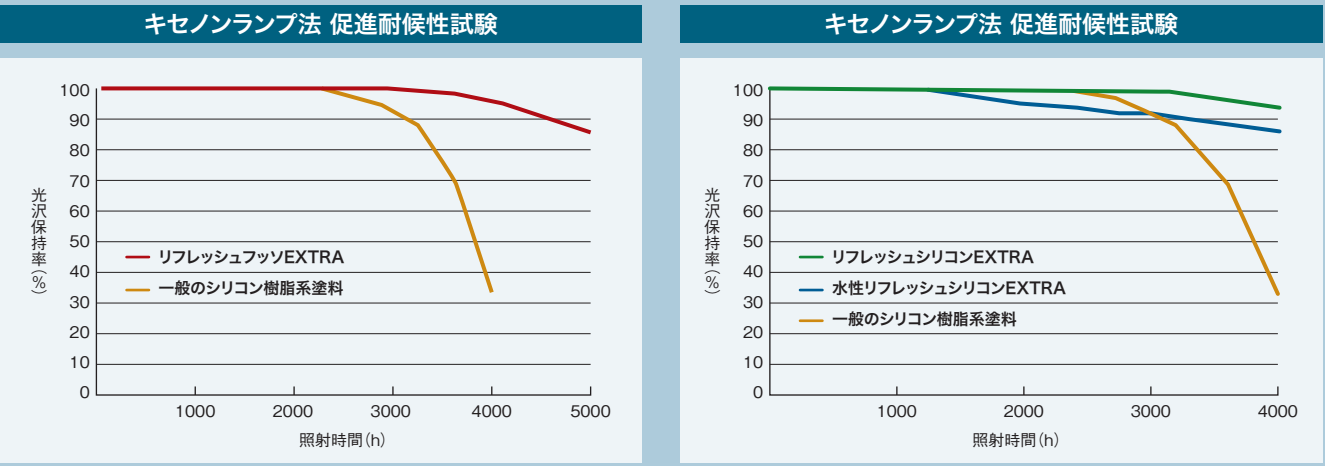
新生屋根 推奨塗料

付着性に優れる弱溶剤	弱溶剤形高級ふっ素樹脂系新生屋根用塗料 リフレッシュフツソEXTRA	高耐候性
	弱溶剤形高級シリコン樹脂系新生屋根用塗料 リフレッシュシリコンEXTRA	防かび・防藻性
安全に配慮した水性	水性高級シリコン樹脂系新生屋根用塗料 水性リフレッシュシリコンEXTRA	低汚染性
		抜群の作業性

耐久性 耐候性	弱溶剤形高級ふっ素樹脂系新生屋根用塗料 リフレッシュフツソEXTRA	高
	弱溶剤形高級シリコン樹脂系新生屋根用塗料 リフレッシュシリコンEXTRA	
	水性高級シリコン樹脂系新生屋根用塗料 水性リフレッシュシリコンEXTRA	
	従来品 弱溶剤形シリコン樹脂塗料	

EXTRAシリーズの塗膜劣化抑制技術で新生屋根を長期的に守る高耐候性塗料です。

調色対応可能！

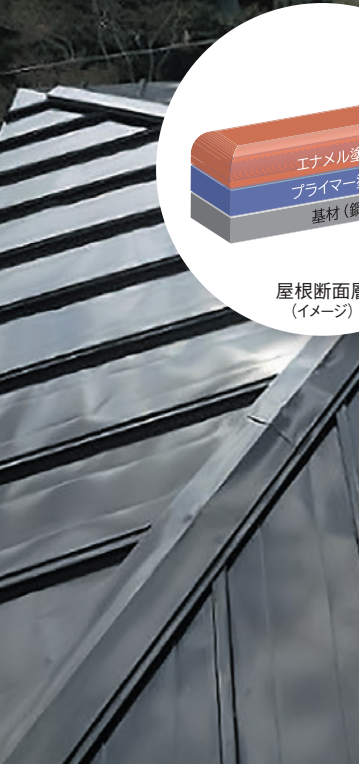


屋根の種類と劣化メカニズム

鋼板屋根編

塗装仕上げの新生屋根、鋼板(カラートタン・折板)屋根は、それぞれ適正時期に塗り替えが必要です。

鋼板(カラートタン)屋根

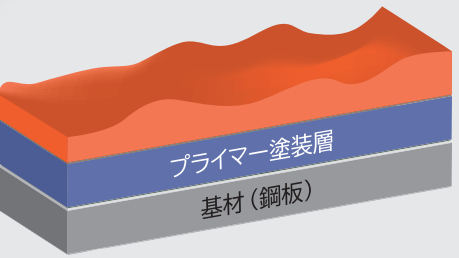
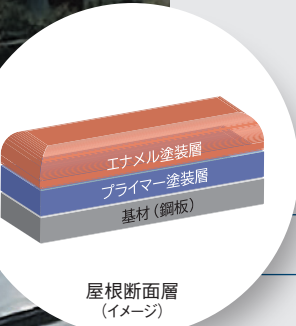


鋼板(折板)屋根

こんな症状が出てくる前に、メンテナンスを行いましょう！

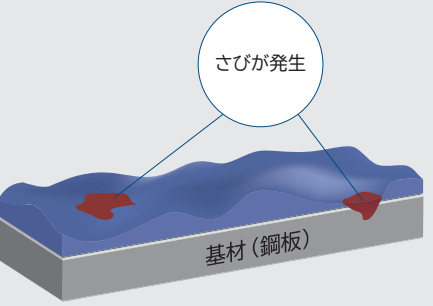
鋼板屋根の劣化メカニズム

経年劣化(初期)

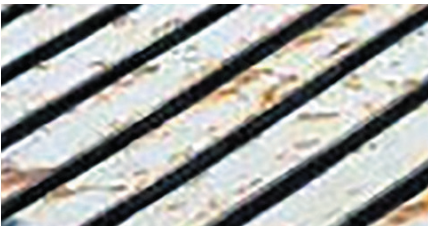


- 紫外線や雨水による表層からの塗膜劣化で摩耗し、基材への劣化影響が大きくなってくる。

経年劣化(進行期)



- プライマー塗装層にまで劣化が進行し、基材の鋼板が露出。錆が発生。
- 塗膜の下に水分が入り込み膨れ・はがれが発生。



錆が発生すると、素材(鋼板)が浸食され、基材の劣化に繋がります。早めの塗り替えをお勧めします！

屋根の塗り替え用 EXTRAシリーズ



屋根素材が傷む前に塗り替えましょう！

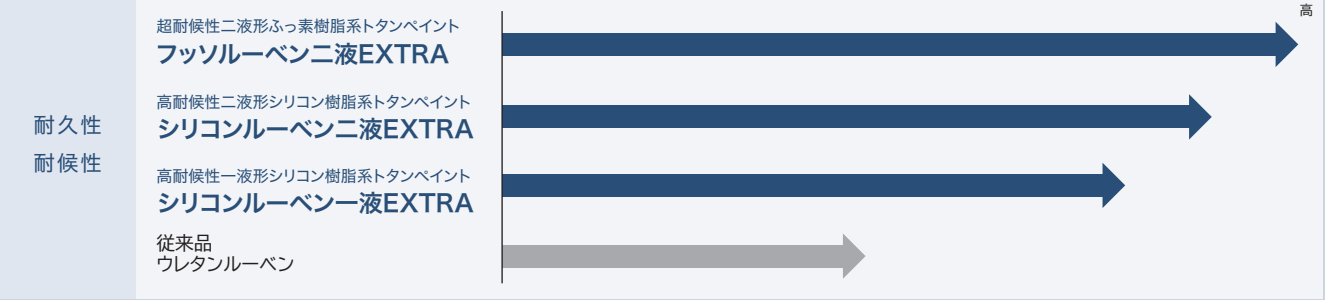
鋼板屋根(カラートタン・折板)推奨塗料

超耐候性二液形ふっ素樹脂系トタンペイント
フッソルーベン二液EXTRA

高耐候性二液形シリコン樹脂系トタンペイント
シリコンルーベン二液EXTRA

高耐候性一液形シリコン樹脂系トタンペイント
シリコンルーベナー液EXTRA 遮熱色3色があります。詳細はルーベンシリーズ色見本帳をご覧ください。

塗膜性能 施工性比較	商品名		容姿	塗膜性能		施工性	
				耐候性	耐久性	刷毛・ローラー作業性	乾燥性
	EXTRA シリーズ	フッソルーベン二液EXTRA	二液	〇〇〇	〇〇	〇	〇
		シリコンルーベン二液EXTRA	二液	〇〇	〇〇	〇	〇
		シリコンルーベナー液EXTRA	一液	〇〇	〇	〇	〇
従来品	ウレタンルーベン	二液	〇	〇	〇	〇	



高耐候性シリコン樹脂シルバー塗料
EXTRAシルバー

特長

〔Point1〕高意匠性

美しい金属光沢調の外観が得られます。

〔Point2〕高耐候性

高い耐候性を持ち、光沢を長期的に持続します。

〔Point3〕優れた作業性

刷毛、ローラー塗装性がよく、きれいに仕上がります。

〔Point4〕幅広い用途

金属屋根面、一般鉄部など、幅広い箇所に適用できます。

EXTRAシリーズ 商品一覧

塗装方法や仕上がり外観、耐候性グレードなど、多数ラインナップ。
本カタログ掲載以外にも様々な塗装仕様をご提案しますのでご相談下さい。

種別	商品名	区分	樹脂系	容姿	色	光沢	容量	用途					
								外壁	外壁 クリヤー仕上	鉄部	木部	新生 屋根	トタン 屋根
上塗り	EXTRAスマイルフッソ	弱溶剤	ふっ素樹脂塗料	二液	各色	つや有り 各つや (3分つや以上)	4kgセット 15kgセット	○	—	○	○	—	—
中塗り	EXTRAスマイルフッソ中塗	弱溶剤	ふっ素樹脂塗料用 中塗	二液	各色	3分つや	4kgセット 15kgセット	○	—	○	○	—	—
上塗り	EXTRAアクアフッソ	水性	ふっ素樹脂塗料	一液	各色	つや有り 各つや (3分つや以上)	4kg 15kg	○	—	○	○	—	—
中塗り	EXTRAアクアフッソ中塗	水性	ふっ素樹脂塗料用 中塗	一液	各色	3分つや	4kg 15kg	○	—	○	○	—	—
上塗り	EXTRAスマイルシリコン	弱溶剤	シリコン樹脂塗料	二液	各色	つや有り 各つや (3分つや以上)	4kgセット 15kgセット	○	—	○	○	—	—
上塗り	EXTRAアクアシリコン	水性	シリコン樹脂塗料	一液	各色	つや有り 各つや (3分つや以上)	4kg 15kg	○	—	○	○	—	—
上塗り	EXTRAビュアマット	水性	シリコン樹脂塗料	一液	各色	つや消し	4kg 15kg	○	—	—	—	—	—
上塗り	リフレッシュフッソEXTRA	弱溶剤	ふっ素樹脂塗料	二液	標準色 +各色	—	15kgセット	—	—	—	—	○	○
上塗り	リフレッシュシリコンEXTRA	弱溶剤	シリコン樹脂塗料	二液	標準色 +各色	—	15kgセット	—	—	—	—	○	○
上塗り	水性リフレッシュシリコンEXTRA	水性	シリコン樹脂塗料	一液	標準色 +各色	—	15kg	—	—	—	—	○	—
上塗り	フッソルーベン二液EXTRA	弱溶剤	ふっ素樹脂塗料	二液	標準色	—	15kgセット	—	—	—	—	○	○
上塗り	シリコンルーベン二液EXTRA	弱溶剤	シリコン樹脂塗料	二液	標準色	—	15kgセット	—	—	—	—	○	○
上塗り	シリコンルーベン一液EXTRA	弱溶剤	シリコン樹脂塗料	一液	標準色	—	15kg	—	—	—	—	—	○
上塗り	EXTRAシルバー	弱溶剤	シリコン樹脂塗料	二液	シルバー	—	15kgセット	—	—	○	—	—	○
下塗り	EXTRA万能スマイルシーラー	弱溶剤	エポキシ樹脂塗料	二液	白 クリヤー	—	3kgセット 15kgセット	○	—	—	○	○	—
下塗り	EXTRA万能アクアシーラー	水性	特殊エマルジョン塗料	二液	白 クリヤー	—	3kgセット 15kgセット	○	—	○ 白のみ	○	○	—
下塗り	EXTRAアクアカチオンシーラー	水性	エマルジョン塗料 (カチオン型)	一液	クリヤー	—	15kg	○	—	—	○	—	—
下塗り	EXTRAアクアブラサフ	水性	エマルジョン塗料	一液	白	—	15kg	○	—	—	—	—	—
下塗り	EXTRA一液エポシーラー	弱溶剤	エポキシ樹脂塗料	一液	クリヤー	—	15kg	○	—	—	○	—	—
さび 止め	EXTRAエポプライマーUNI	弱溶剤	エポキシ樹脂塗料	一液	赤さび色 ブラック グレー ホワイト ブルー	—	16kg	—	—	○	—	—	○
さび 止め	EXTRAエポプライマー二液	弱溶剤	エポキシ樹脂塗料	二液	赤さび色 ブラック グレー	—	18kgセット	—	—	○	—	—	○

注1)「EXTRAスマイルフッソ」「EXTRAアクアフッソ」は、2回塗りを推奨していますが、それぞれの専用中塗塗料とも組み合わせることが可能です。
注2) 下塗り・さび止めの用途の詳細は、P13の素材適応一覧をご参照下さい。

EXTRAシリーズ下塗り塗料

万能タイプ

コンクリート・モルタル・ボードなどの無機系素材のみならず、新生屋根・木部・非鉄金属・FRPなどに幅広く適用する下塗り塗料

弱溶剤二液オールインワンシーラー

EXTRA万能スマイルシーラー

色相
白・クリヤー

白は防錆性能があるため、鉄部にも適用可能です。

水性二液オールインワンシーラー

EXTRA万能アクアシーラー

色相
白・クリヤー

さび止め

弱溶剤一液変性エポキシ樹脂塗料

EXTRAエポプライマーUNI

色相
赤さび色・ブラック
グレー・ホワイト・ブルー

- 一液タイプで環境にやさしく、速乾性に優れています。
- JIS K 5551 C種 1号・2号相当のサイクル腐食性試験に合格しています。



JIS K 5551
サイクル腐食性の試験結果

弱溶剤二液変性エポキシ樹脂塗料

EXTRAエポプライマー二液

色相
赤さび色・ブラック・グレー

- 幅広い塗り替え適応性を持ち、悪素地面に対しても高い付着力と防錆力を発揮します。
- 一回で50μm以上の厚塗りが可能です。
- JASS 18 M-109 耐塩水性およびJIS K 5551 サイクル腐食性に合格しています。



JASS 18 M-109
耐塩水性の試験結果



JIS K 5551
サイクル腐食性の試験結果

参考 DNTのその他下塗り塗料

塗布型素地調整軽減剤

サビシャット/サビシャットスプレー

- 4種ケレン(清掃ケレン)程度の素地調整で、優れた防錆性
- さび層への浸透性、脆弱層の強化に優れる
- さび層中の腐食性イオンを無害化

浸透性変性エポキシ樹脂塗料(弱溶剤・二液)

エポティ

- あらゆる金属への付着性に優れる
- 弱溶剤形のため臭気も少ない

塩害環境向け高遮断形変性エポキシ樹脂塗料(弱溶剤・二液)

タイエンダー下塗

- 塩害環境における防食性が従来品の3倍以上優れる
- あらゆる金属への付着性に優れる
- 5℃～40℃の環境で施工可能

EXTRAシリーズ下塗り・さび止め商品 素材適応一覧

塗装する素材に応じて下塗りをお選び頂けます。

種別	商品名	色	無機系素材			サイディングボード種別				鉄・非鉄金属・その他										屋根	
			コンクリート・モルタル	けい酸カルシウム板	プラスチックボード①	通常塗装板	ふっ素塗装板	無機系コーティング	光触媒コーティング	一般鉄部	アルミニウム②	ガルバリウム	溶融亜鉛めっき(ドブ付け)③	電気亜鉛めっき	硬質塩ビ	FRP④	木部⑤	新生屋根	銅板(カライトタン・折板)		
下塗り	EXTRA万能スマイルシーラー	白	○	－	○	○	○	○	－	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	※3	○
		クリアー	○	○	○	○	○	※4	×	－	※2	※2	×	－	※2	※2	○	○	○	－	－
下塗り	EXTRA万能アクアシーラー	白※1	○	－	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	※3	－
		クリアー	○	○	○	○	○	○	※4	×	－	※2	※2	×	－	※2	○	○	○	－	－
下塗り	EXTRAアクアカチオンシーラー	クリアー	○	○ 内装に限る	○	○	×	×	×	－	－	－	×	－	－	－	○	－	－	－	－
下塗り	EXTRAー液エポシーラー	クリアー	○	○	○	○	×	×	×	－	－	－	×	－	－	－	○	○	○	－	－
下塗り	EXTRAアクアブラサフ	白	○	×	○	○	×	×	×	－	－	－	×	－	－	－	－	－	－	－	－
さび止め	EXTRAエポプライマーUNI	赤さび色 ブラック グレー ホワイト ブルー	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	×	－	－	－	－	－	－	○	○
さび止め	EXTRAエポプライマー二液	赤さび色 ブラック グレー	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	×	－	－	－	－	－	－	○	○

○：最適 ×：不適 －：一般的には塗装しない

- ①けい酸カルシウム板へ塗装する場合、吸い込みが止まらない場合は塗り回数を増やして下さい。また、1回塗装し研磨を行った後に2回目を塗装すると、仕上がり外観が向上します。
②アルミニウムはA1050Pでの試験結果になります。
③溶融亜鉛めっき面(ドブ付け)につきましては、弱溶剤二液浸透性変性エポキシ樹脂塗料「エポティ」をご使用下さい。
④FRPは硬質材のみです。FRP防水材には塗装しないで下さい。
⑤新設木部はヤニを削り取り、電気ゴテ焼を行った後、溶剤で拭き取ってから塗装を行って下さい。

※1 屋外の金属面に適応する場合は、「EXTRA万能アクアシーラー 白」を2回塗りして下さい。
※2 吸い込まない素材には、白をご使用下さい。
※3 新品のカラートタンには塗装しないで下さい。さびが発生している場合は、さび止め塗料をご使用下さい。
※4 光触媒コーティングへの塗装は、紫外線透過の観点から白をご使用下さい。

注) ALC板へ塗装する場合、DNTALCフィラー・軸元5号Sなどの下地調整剤で巣穴を埋めた後に塗装を行って下さい。

部位別標準塗装仕様

サイディングボード(高耐候性基材)や各種ボード・モルタル・コンクリートなど

弱溶剤形仕様の場合										
工 程	商品名	塗り回数 (回)	色 相	混合比率 (重量比)	塗装方法	希釈剤	希 釈 率 (%) (重量比)	標準使用量 (kg/㎡/回)	塗装間隔 (20℃)	
素地調整	【 新 設 】ワイヤブラシ、サンドペーパーなどを用いて、汚れや付着物を除去する。 【塗り替え】ワイヤブラシ、サンドペーパーなどを用いて、汚れや付着物を除去する。活膜がある場合は全面目粗しを行う。									
下塗り	EXTRA万能スマイルシーラー★	1	白	主 剤 90部 硬化剤 10部	刷毛・ローラー エアレス	塗料用シンナー 又は 塗料用シンナーA	5～10	0.10	4時間以上 7日以内	
		1	または クリアー	主 剤 14部 硬化剤 1部	刷毛・ローラー エアレス		10～20	0.12		
ふっ素	中塗り	1	各色	主 剤 90部 硬化剤 10部	刷毛・ローラー エアレス	塗料用シンナー 又は 塗料用シンナーA	30～50	0.10～0.12	4時間以上 7日以内	
	上塗り	1	各色	主 剤 90部 硬化剤 10部	刷毛・ローラー エアレス		5～10	0.11		
シリコン	中塗り	1	各色	主 剤 90部 硬化剤 10部	刷毛・ローラー エアレス	塗料用シンナー	20～30	0.13	2時間以上 7日以内	
	上塗り	1	各色	主 剤 90部 硬化剤 10部	刷毛・ローラー エアレス		5～10	0.11		
シリコン	中塗り	2	各色	主 剤 90部 硬化剤 10部	刷毛・ローラー エアレス	塗料用シンナー	20～30	0.13	2時間以上 7日以内	
	上塗り	2	各色	主 剤 90部 硬化剤 10部	刷毛・ローラー エアレス		5～10	0.11		

★下塗りに「マイティー万能エポシーラー白、クリアー」もご使用いただけます。詳細は、単品説明書をご参照下さい。
※1 壁面の塗り重ね最小時間です。歩行作業や養生などが必要な場合の最小時間は16時間です。
※2 ふっ素の場合、中塗り・上塗り工程は、「EXTRAスマイルフッソ」2回塗り仕上げも可能です。
注1) 吸い込みが著しい素材の場合は、必要に応じて下塗りの塗り回数を増やして下さい。
注2) 旧塗膜の劣化が少ない場合は、下塗りを省略することが可能です。但し、光触媒・無機系・ふっ素系コーティングのサイディングボードの塗り替え時は、必ず「EXTRA万能スマイルシーラー白」又は「マイティー万能エポシーラー白」を使用して下さい。
注3) エアスプレーの場合は、エアレス希釈率より5～10%増やして下さい。
注4) 被塗物の形状などにより標準使用量は変動します。
注5) 弱溶剤形一液塗料(再溶解タイプ)に対する塗り替えの場合、不具合を生じるケースがあるので、二液形の溶剤系塗料は使用しないで下さい。

水性仕様の場合										
工 程	商品名	塗り回数 (回)	色 相	混合比率 (重量比)	塗装方法	希釈剤	希 釈 率 (%) (重量比)	標準使用量 (kg/㎡/回)	塗装間隔 (20℃)	
素地調整	【 新 設 】ワイヤブラシ、サンドペーパーなどを用いて、汚れや付着物を除去する。 【塗り替え】ワイヤブラシ、サンドペーパーなどを用いて、汚れや付着物を除去する。活膜がある場合は全面目粗しを行う。									
下塗り	サイディング ボード面	1	白	主 剤 14部 硬化剤 1部	刷毛・ローラー エアレス※4	水道水	0～10	0.10～0.12	4時間以上 7日以内	※1
		1	または クリアー	主 剤 14部 硬化剤 1部	刷毛・ローラー エアレス※4		0～20	0.12～0.15		
	モルタル平滑面	1	クリアー	—	刷毛・ローラー エアレス	無希釈	—	0.11	2時間以上 7日以内	※1
		1	白	—	多孔質ローラー 中毛ローラー リシガン		1～2	0.80～1.50		
	模様吹き面	1	白	—	—	水道水	5～9	0.30～0.50	8時間以上 7日以内	※1
		1	白	—	刷毛・ローラー		3～5	0.70～1.20		
ふっ素	中塗り	1	各色	—	刷毛・ローラー エアレス※4	水道水	2～5	0.20～0.40	16時間以上 1ヶ月以内	
	上塗り	1	各色	—	刷毛・ローラー エアレス※4		5～10	0.12(0.16)※2		
シリコン	中塗り	1	各色	—	刷毛・ローラー エアレス※4	水道水	10～20	0.15(0.20)※2	3時間以上 1ヶ月以内	
	上塗り	1	各色	—	刷毛・ローラー エアレス※4		5～10	0.12(0.16)※2		
シリコン消し	中塗り	2	各色	—	刷毛・ローラー エアレス※4	水道水	10～20	0.15(0.20)※2	3時間以上 1ヶ月以内	
	上塗り	2	各色	—	刷毛・ローラー エアレス※4		5～10	0.12(0.16)※2		

★下塗りに「マイティー万能水性シーラー白、クリアー」もご使用いただけます。詳細は、単品説明書をご参照下さい。
※1 壁面の塗り重ね最小時間です。歩行作業や養生などが必要な場合の最小時間は16時間です。
※2 標準使用量の()内は、下地が凹凸模様の時の数値です。
※3 ふっ素の場合、中塗り・上塗り工程は、「EXTRAアクアフッソ」2回塗り仕上げも可能です。
※4 エアスプレーの場合は、エアレス希釈率より5～10%増やして下さい。
注1) 吸い込みが著しい素材の場合は、必要に応じて下塗りの塗り回数を増やして下さい。
注2) EXTRAアクアカチオンシーラーはカチオン型塗料ですので、他種塗料との混合はできません。また、刷毛・ローラーも他種と混同して使用しないで下さい。
注3) 光触媒・無機系・ふっ素系コーティングのサイディングボードへ塗装する場合は、必ず「EXTRA万能アクアシーラー白」又は「マイティー万能水性シーラー白」を使用して下さい。
注4) 被塗物の形状などにより標準使用量は変動します。

新生屋根材(カラーベスト・コロニアル・スレート屋根など)

弱溶剤形仕様の場合									
工 程	商品名	塗り回数 (回)	色 相	混合比率 (重量比)	塗装方法	希釈剤	希釈率(%) (重量比)	標準使用量 (kg/㎡/回)	塗装間隔 (20℃)
下地調整	汚れ・脆弱な層などを適切な工具(ブラシやサンドペーパーなど)を用いて除去する。 高圧洗浄機(圧力15MPa(150kg/㎡))にて、ごみ・埃・コケ・その他付着物および浮いた表層を完全に取り除き、清浄な面とする。								乾燥後
下塗り	EXTRA万能スマイルシーラー*	1～2	クリアー	主 剤 14部 硬化剤 1部	刷毛・ローラー、 エアレス	塗料用シンナー又は 塗料用シンナーA	30～50	0.10～0.12	16時間以上 7日以内
上塗り	ふっ素	2	各色	主 剤 90部 硬化剤 10部	刷毛・ローラー エアレス	塗料用シンナー	5～10 20～30	0.11 0.13	2時間以上 7日以内
	シリコン	2	各色	主 剤 90部 硬化剤 10部	刷毛・ローラー エアレス	塗料用シンナー	5～10 20～30	0.11 0.13	2時間以上 7日以内
縁切り	水切り部で上下の瓦が塗料で接着している箇所は、スケーラーなどで縁切りを行う。								

★下塗りに「マイティー万能エポシーラー クリヤー」もご使用いただけます。詳細は、単品説明書をご参照下さい。
注1) 基材の劣化が著しい場合には、下塗りに「釉元5号S」をご使用下さい。詳細は、単品説明書をご参照下さい。
注2) エアスプレーの場合は、エアレス希釈率より5～10%増やして下さい。

水性仕様の場合									
工 程	商品名	塗り回数 (回)	色 相	混合比率 (重量比)	塗装方法	希釈剤	希釈率(%) (重量比)	標準使用量 (kg/㎡/回)	塗装間隔 (20℃)
下地調整	汚れ・脆弱な層などを適切な工具(ブラシやサンドペーパーなど)を用いて除去する。 高圧洗浄機(圧力15MPa(150kg/㎡))にて、ごみ・埃・コケ・その他付着物および浮いた表層を完全に取り除き、清浄な面とする。								乾燥後
下塗り	EXTRA万能アクアシーラー*	1～2	クリアー	主 剤 14部 硬化剤 1部	刷毛・ローラー エアレス	水道水	0～10 0～20	0.10～0.12 0.12～0.15	16時間以上 7日以内
上塗り	水性リフレッシュシリコンEXTRA	2	各色	—	刷毛*1・ローラー エアレス	水道水	5～10 10～20	0.14 0.16	2時間以上 1ヶ月以内
縁切り	水切り部で上下の瓦が塗料で接着している箇所は、スケーラーなどで縁切りを行う。								

★下塗りに「マイティー万能水性シーラー クリヤー」もご使用いただけます。詳細は、単品説明書をご参照下さい。
注1) 基材の劣化が著しい場合には、下塗りに「釉元5号S」をご使用下さい。詳細は、単品説明書をご参照下さい。
注2) エアスプレーの場合は、エアレス希釈率より5～10%増やして下さい。
※1「水性リフレッシュシリコンEXTRA」を塗装する際は、ナイロン刷毛を使用して下さい。

鋼板屋根材(カラートタン・折板)

工 程	商品名	塗り回数 (回)	色 相	混合比率 (重量比)	塗装方法	希釈剤	希釈率(%) (重量比)	標準使用量 (kg/㎡/回)	塗装間隔 (20℃)
素地調整	強く付着している旧塗膜は残し、さびや浮き塗膜は高圧洗浄又はディスクサンダーやワイヤブラシ、 サンドペーパーなどで完全に除去する。ごみ、埃はウエスで拭き取り清浄な面とする。								
素地調整 軽減剤塗布	サビシャット	1	乳褐色	A液 10部 B液 2部	刷毛・ローラー	無希釈		0.10～	3時間以上 3日以内
下塗り	EXTRAエポプライマー二液	1	赤さび色 ブラック	主 剤 90部 硬化剤 10部	刷毛・ローラー エアレス	塗料用シンナー又は 塗料用シンナーA	5～10 5～15	0.17 0.22	16時間以上 14日以内
	EXTRAエポプライマーUNI	1	赤さび色 ブラック ホワイト ブルー	—	刷毛・ローラー エアレス	塗料用シンナー又は 塗料用シンナーA	5～10 5～15	0.13 0.17	2時間以上 1ヶ月以内
	ガルバリウムの場合 エポティ	1	グレー ライトグレー Dホワイト	主 剤 90部 硬化剤 10部	刷毛・ローラー エアレス	塗料用シンナー又は 塗料用シンナーA	0～ 5 0～10	0.14	24時間以上 7日以内
上塗り	ふっ素	2	標準色	主 剤 90部 硬化剤 10部	刷毛・ローラー エアレス	塗料用シンナー又は 塗料用シンナーA	5～10 10～20	0.11 0.14	4時間以上 7日以内
	シリコンルーベン二液EXTRA	2	標準色	主 剤 90部 硬化剤 10部	刷毛・ローラー エアレス	塗料用シンナー又は 塗料用シンナーA	5～10 10～20	0.11 0.14	4時間以上 7日以内
	シリコンルーベンー液EXTRA	2	標準色	—	刷毛・ローラー エアレス	塗料用シンナー又は 塗料用シンナーA	5～15 10～20	0.11 0.14	2時間以上 1ヶ月以内
	EXTRAシルバー	2	シルバー	主 剤 90部 硬化剤 10部	刷毛・ローラー エアレス	塗料用シンナー	5～10 10～20	0.10 0.12	2時間以上 7日以内
指定色の 上塗り	ふっ素	2	各色	主 剤 90部 硬化剤 10部	刷毛・ローラー エアレス	塗料用シンナー	5～10 20～30	0.11 0.13	2時間以上 7日以内
	シリコン	2	各色	主 剤 90部 硬化剤 10部	刷毛・ローラー エアレス	塗料用シンナー	5～10 20～30	0.11 0.13	2時間以上 7日以内

注1) 鋼板の最初の塗り替えの場合は、必ずペーパーで目粗しをして下さい。
注2) 鋼板の素地が見えている部分、さびが発生している場所は素地調整後、必ずさび止め塗料を塗装して下さい。
注3) 波型トタンの山部分やトタン板の継目、折り曲げ部分は膜厚が薄くなりがちです。先に拾い塗りをする、より長持ちします。
注4) 積雪の荷重を最も受けやすい軒先の部分、瓦棒の凹凸部には、こすり付けるように増し塗りを行うと、より長持ちします。
注5) EXTRAエポプライマー二液を使用する場合は上塗塗料も二液形であるフッソルーベン二液EXTRA、シリコンルーベン二液EXTRA、EXTRAシルバーをご使用下さい。
注6) エポティを使用する場合は、上塗塗料も二液形であるフッソルーベン二液EXTRA、シリコンルーベン二液EXTRA、EXTRAシルバーをご使用下さい。
注7) エアスプレーの場合は、エアレス希釈率より5～10%増やして下さい。
注8) 弱溶剤形一液塗料(再溶解タイプ)に対する塗り替えの場合、不具合を生じるケースがあるので、二液形の溶剤系塗料は使用しないで下さい。

木部

工 程			商品名	塗り回数 (回)	色 相	混合比率 (重量比)	塗装方法	希 釈 剤	希 釈 率 (%) (重量比)	標準使用量 (kg/㎡/回)	塗装間隔 (20℃)	
素地調整			1. 木部を傷付けないように汚れ、付着物を除去する。油類は溶剤などで拭き取る。 2. ヤニは、削り取り又は電気ごて焼きのうえ、溶剤などで拭き取る。 3. 研磨紙(P120～220)を用いて、かなな目、逆目、けばなどを研磨する。									
下塗り	弱溶剤の場合	EXTRA 万能スマイルシーラー	1	白 クリアー※1	主 剤 90部 硬化剤 10部	刷毛・ローラー エアレス※2	塗料用シンナー 又は 塗料用シンナーA	5～10	0.10	4時間以上 7日以内		
					主 剤 14部 硬化剤 1部	刷毛・ローラー、 エアレス※2		10～20	0.12			
		— 又は —		—	刷毛・ローラー エアレス	無希釈	30～50	0.10～0.12				
		EXTRA 一液エポシーラー					1	クリアー	0.10～0.20		3時間以上 7日以内	
	水性の場合	EXTRA 万能アクアシーラー	1	白 クリアー※1	主 剤 14部 硬化剤 1部	刷毛・ローラー エアレス※2	水道水	0～10	0.10～0.12	4時間以上 7日以内		
		— 又は —		EXTRA アクアカチオンシーラー	1	クリアー		—	刷毛・ローラー エアレス		無希釈	0～20
上塗り	弱溶剤 の場合	ふっ素 シリコン 系	EXTRA スマイルフツソ				2			各色		主 剤 90部 硬化剤 10部
			EXTRA スマイルシリコン	2	各色	主 剤 90部 硬化剤 10部	刷毛・ローラー エアレス※2	20～30	0.13			
	水性 の場合	ふっ素 系	EXTRA アクアフツソ	2	各色	—	刷毛・ローラー エアレス※2	水道水	5～10	0.12	3時間以上 1ヶ月以内	
			EXTRA アクアシリコン	2	各色	—	刷毛・ローラー エアレス※2		10～20	0.15		
									水道水	5～10	0.12	3時間以上 1ヶ月以内

※1 下地の影響により上塗りが透ける場合がありますので、下塗りの色相は白を推奨します。
※2 エアスプレーの場合は、エアレス希釈率より5～10%増やして下さい。
注1) 吸い込みが著しい素材の場合は、必要に応じて下塗りの塗り回数を増やして下さい。
注2) 弱溶剤形一液塗料(再溶解タイプ)に対する塗り替えの場合、不具合を生じるケースがあるので、二液形の溶剤系塗料は使用しないで下さい。

鉄部

工 程		商品名	塗り回数 (回)	色 相	混合比率 (重量比)	塗装方法	希 釈 剤	希 釈 率 (%) (重量比)	標準使用量 (kg/㎡/回)	塗装間隔 (20℃)
素地調整		ワイヤブラシ、サンドペーパーなどを用いて、さび・劣化塗膜・その他の有害な付着物を除去し、全面目粗しを行う。								
フッ素 シリコン	下塗り	EXTRAエポプライマー二液*	1	赤さび色 ブラック グレー	主 剤 90部 硬化剤 10部	刷毛・ローラー エアレス	塗料用シンナー又は 塗料用シンナーA	5〜10 5〜15	0.17 0.22	16時間以上 14日以内
	中塗り	EXTRAスマイルフッソ中塗*	1	各色	主 剤 90部 硬化剤 10部	刷毛・ローラー	塗料用シンナー	5〜10	0.11	2時間以上 7日以内
						エアレス		20〜30	0.13	
	上塗り	EXTRAスマイルフッソ	1	各色	主 剤 90部 硬化剤 10部	刷毛・ローラー	塗料用シンナー	5〜10	0.11	2時間以上 7日以内
						エアレス		20〜30	0.13	
	上塗り	EXTRAスマイルシリコン	2	各色	主 剤 90部 硬化剤 10部	刷毛・ローラー	塗料用シンナー	5〜10	0.11	2時間以上 7日以内
エアレス						20〜30		0.13		

★[EXTRAエポプライマー二液]の他に「エポオールスマイル」もご使用いただけます。詳細は、単品説明書をご参照下さい。
※ふっ素の場合、中塗り・上塗り工程は、「EXTRAスマイルフツソ」2回塗り仕上げも可能です。
注1) エアスプレーの場合は、エアレス希釈率より5～10%増やして下さい。
注2) 弱溶剤形一液塗料(再溶解タイプ)に対する塗り替えの場合、不具合を生じるケースがあるので、二液形の溶剤系塗料は使用しないで下さい。

非鉄金属など[アルミニウム、ステンレス]

工 程		商品名	塗り回数 (回)	色 相	混合比率 (重量比)	塗装方法	希 釈 剤	希 釈 率 (%) (重量比)	標準使用量 (kg/㎡/回)	塗装間隔 (20℃)	
素地調整		サンドペーパーや電動工具などを用いて、さび・劣化塗膜・その他の有害な付着物を除去し、全面目粗しを行う。 油脂分はシンナーを用いて除去する。									
下塗り	弱溶剤の場合	EXTRA 万能スマイルシーラー	1	白	主 剤 90部 硬化剤 10部	刷毛・ローラー エアレス	塗料用シンナー又は 塗料用シンナー-A	5～10 10～20	0.10 0.12	4時間以上 7日以内	
	水性の場合	EXTRA 万能アクアシーラー	1	白	主 剤 14部 硬化剤 1部	刷毛・ローラー エアレス	水道水	0～10 0～20	0.10～0.12 0.12～0.15	4時間以上 7日以内	
上塗り	弱溶剤 の場合	ふっ 素シリ コン	EXTRA スマイルフツソ	2	各色	主 剤 90部 硬化剤 10部	刷毛・ローラー エアレス	塗料用シンナー	5～10 20～30	0.11 0.13	2時間以上 7日以内
			EXTRA スマイルシリコン	2	各色	主 剤 90部 硬化剤 10部	刷毛・ローラー エアレス		塗料用シンナー	5～10 20～30	
	水性 の場合	ふっ 素シリ コン	EXTRA アクアフツソ	2	各色	－	刷毛・ローラー エアレス	水道水	5～10 10～20	0.12 0.15	3時間以上 1ヶ月以内
							EXTRA アクアシリコン		2	各色	

注1) 溶融亜鉛めっき(ドブ付け) への下塗りには、エポティをご使用下さい。
注2) 塩ビ鋼板へ塗装する場合は、事前にお問い合わせ下さい。
注3) エアスプレーの場合は、エアレス希釈率より5～10%増やして下さい。
注4) 弱溶剤形一液塗料(再溶解タイプ)に対する塗り替えの場合、不具合を生じるケースがあるので、二液形の溶剤系塗料は使用しないで下さい。

施工上の注意

製品ごとに特に注意が必要な事項

【EXTRA万能スマイルシーラー】【EXTRA万能アクアシーラー】

- ①溶融亜鉛めっき(ドブ付け)への下塗りには、エポティをご使用下さい。
- ②木部のヤニは削り取り、電気こて焼きを実施して、溶剤で拭き取って下さい。
- ③新設カラートタンには使用できません。
- ④FRP・硬質塩ビ素材は、サンドペーパーなどを用いて、目粗しを行って下さい。
- ⑤ALC板の場合は、巣穴を下地調整材で埋めてから塗装して下さい。直接、塗装するのは避けて下さい。
- ⑥塗装間隔が長くなると密着不良になります。規定以上経過した場合は塗膜表面をサンドペーパー等にて研磨し、更にウエス拭きしてから塗装して下さい。

【EXTRAー液エポシーラー】

- ①希釈しないでそのまま塗装して下さい。
- ②開缶後は、塗料をすべて使い切って下さい。
- ③空気中の水分と反応し硬化する塗料のため、保管する場合は密閉容器に保管して下さい。
- ④塗装終了後、刷毛などの用具は早めに塗料用シンナーで洗浄して下さい。固着した場合は、ラッカーシンナーを使用して下さい。

【EXTRAシルバー】

- ①アルミを使用しており、塗装方法(方向)の違いなどによってアルミの見え方が異なり、仕上がりが不良になる恐れがあります。

弱溶剤、水性共通

- ①新しいモルタルやコンクリート面の養生は十分に行って下さい。原則として3週間以上が適当です。含水率10%以下、pH10以下で塗装して下さい。
- ②旧塗膜の浮きや有害な付着物は、高圧洗浄機やワイヤブラシ・皮スキ・ケレン棒などで完全に除去してから塗装して下さい。除去が不十分な状態の塗装は、塗膜のはく離・つやの低下などの原因となります。(判定方法:乾燥後、ガムテープを貼り付け、強く引っ張って剥がし、素地が剥がれないことを確認して下さい。)
- ③チョーキング面は、高圧水洗〔15MPa(150kg/cm以上)〕で念入りに水洗し、劣化塗膜や粉化物を除去して下さい。
- ④洗浄後は、1日以上乾燥させて下さい。また、素材表面が雨・露などで濡れている場合は、十分に乾燥させてから塗装して下さい。乾燥が不十分な状態での塗装は、はく離・ふくれ・割れ・つやの低下などの原因になります。
- ⑤さびの発生部ではワイヤブラシ・サンドペーパーなどで入念に除去を行い、十分な素地調整をして下さい。
- ⑥ごみ・埃・砂・油・ワックスなどが付着している場合は、ハジキや付着不良の原因となりますので、完全に除去して下さい。
- ⑦旧塗膜に発生したかび・藻などは必ず除去し、清浄な面として下さい。
- ⑧塗り替え工事の際、下地の浮きは事前に樹脂の注入を行って下さい。
- ⑨結露しやすい地域や季節には塗装時間に注意し、早めに塗装を終えて十分な乾燥時間を確保して下さい。
- ⑩屋外での塗装の際は天候を確認し、降雨・降雪のおそれがある場合および強風時は塗装しないで下さい。
- ⑪本製品は建築塗料です。本来の用途以外に使用しないで下さい。
- ⑫飛散防止のため、必ず養生をして下さい。
- ⑬塗装後、約24時間以内に乾燥不十分な状態で降雨・結露が起こるおそれがある場合、又は高湿度・低温になる場合、通風のない場合には、はく離・ふくれ・割れ・白化・シミなどが発生するおそれがありますので、塗装しないで下さい。

弱溶剤の場合

- ①弱溶剤二液形塗料には、ラッカーシンナー・ラッカーリターダーなどアルコール系溶剤が入っているシンナーや、水の混入は絶対に避けて下さい。
- ②冬季など乾燥が遅れる場合は、EXTRASマイルフッソ・EXTRASマイルシリコンの希釈には塗料用シンナーA又はエナメルシンナー#220を使用して下さい。
- ③主剤と硬化剤を混合して使用する二液形塗料の混合比率・可使時間などはカタログ・単品説明書(DK SYSTEM)を参照し、正しく使用して下さい。
- ④主剤と硬化剤を混合した塗料は硬化反応が始まるため、可使時間以内【8時間以内(20℃)】に使い切るようにして下さい。
- ⑤硬化剤(イソシアネート化合物)は空気中の水分と反応するため、絶えず密閉し冷暗所に貯蔵して下さい。
- ⑥弱溶剤形一液塗料(再溶解タイプ)の塗り替えには使用しないで下さい。
- ⑦旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響で塗膜が侵され、膨れや縮みなどの異常が発生場合があります。必ず旧塗膜の種類を確認した上、塗装仕様をご検討下さい。
- ⑧硬化に時間がかかる場合があるため、カウンター・棚・床などへの塗装については、十分な乾燥時間をとるようにして下さい。乾燥が不十分な場合は、粘着による種々の不具合が起こる可能性があります。
- ⑨使用後は、直ちに刷毛・ローラーなどの塗装器具類を十分に洗浄して下さい。一度硬化すると溶剤に溶けにくくなります。

【EXTRAアクアカチオンシーラー】

- ①リフティングを防止するためのバリエー効果はありませんので、塗り替え時、上塗りに溶剤形塗料を塗装する場合は事前にご相談下さい。
- ②希釈しないでそのまま塗装して下さい。
- ③カチオン型塗料ですので、他種塗料との混合はできません。
- ④さび缶などは、プラスチック容器を使用して下さい。金属類はさびが発生します。
- ⑤刷毛およびローラーは他種塗料と共有しないで下さい。

【EXTRAビュアマット】

- ①濃彩色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがありますので、ご注意下さい。
- ②一部濃彩色では塗膜硬化後でも、降雨、結露環境にさらされると、塗膜中の水溶性成分と反応し雨ジミ等の現象が発生場合があります。

【ルーベンシリーズ】

- ①ルーベンシリーズ商品間において、商品(製造種)が異なる場合、同名色であっても色味が異なるケースがあるので、同物件などで使い分ける際にはご注意下さい。
- ②シリコンルーベンー液EXTRAの遮熱色は、表層に青色が浮く場合がありますので、十分攪拌してから塗装して下さい。
- ③シリコンルーベンー液EXTRAは、夏季など被塗物の温度が高いときはリターダーシンナーとしてルーベンシンナーSをご使用下さい。

- ⑭塗装場所の気温が5℃以下、湿度が85%以上で結露のおそれがある場所、又換気の悪い場所では塗装しないで下さい。
- ⑮塗料は使用前に十分攪拌し、均一な状態にしてから塗装して下さい。
- ⑯希釈は指定された希釈剤をご使用下さい。又希釈し過ぎないようにご注意下さい。希釈し過ぎた場合は、ダレや隠べい不良、仕上がりが不良などの原因になります。
- ⑰金属面で素地の露出がある部分については、下塗りの補修塗装を行って下さい。トタン板のさびは瓦棒や継目に発生しやすいので、細かいところほど丁寧にプライマーを塗って下さい。
- ⑱下塗りには必ず指定の材料を使用して下さい。
- ⑲十分な塗膜性能を確保するため、標準使用量を守って塗装して下さい。
- ⑳吸い込みが著しい素材の場合は、必要に応じて下塗りの塗り回数を増やして下さい。
- ㉑下地の1mm以上のクラックは、Uカット後にシーリング材を充填し、表面をセメントフィラーで処理して下さい。1mm以下のクラックは、「DNT弾性フィラーー液デクトMAX」を刷毛又は中毛ローラーで塗装して下さい。
- ㉒タレ・塗り残しがないように均一に塗装して下さい。
- ㉓施工中は塗料が容器からこぼれないように注意して下さい。万が一こぼれた場合は、速やかに布かウエスでよく拭き取るか、砂などを散布した後に処理を行って下さい。
- ㉔スプレー塗装の場合は、ミストの汚染防止に十分ご注意下さい。
- ㉕容器は基本的につり上げないで下さい。やむを得ずつり上げる場合は、安全性が確保された適切なつり器具で垂直につり上げ、落下には十分注意して下さい。(偏荷重になると容器の部品が外れ、落下事故に繋がる危険性があります。)
- ㉖汚れや傷などで補修塗装が必要になる場合がありますので、使用塗料と塗装方法の控えを必ずとり、同一塗料・同一方法で補修塗装をして下さい。
- ㉗塗装中および乾燥中は、揮発した溶剤成分や蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- ㉘塗料は開封後、一度に使い切るようにして下さい。やむを得ず保存し直す場合には、厳重に密閉した後、冷暗所で保管し速やかに使い切って下さい。
- ㉙屋外での塗料の貯蔵はしないで下さい。又、直射日光が当たらない場所で貯蔵して下さい。
- ㉚適切な保存方法では引火の心配はありませんが、極端な高温(50℃以上)の環境での保管は避けて下さい。
- ㉛安全衛生・法規についての情報が必要な場合には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。
- ㉜規格表示・膜厚・乾燥時間・塗装間隔などの製品情報が必要な場合には、単品説明書をご参照下さい。
- ㉝塗膜表面を擦ると傷つきやすいため、汚れなどが付着した際には濡れたタオルで傷つかないように拭き取って下さい。

水性の場合

- ①シャッター・歩行部などへの塗装は「ブロッキング」するおそれがありますので避けて下さい。
- ②ドアパッキン・プラスチック・発泡スチロールなどの可塑剤を含むものと接触すると軟化したり、付着によるはく離を起こすおそれがありますので避けて下さい。
- ③ショーケース(陳列棚)・カウンター・ファニチャー(家具)などの上に物を置く場所への塗装や床面への塗装は、「塗膜の粘着や色移り」を起こすおそれがありますので避けて下さい。
- ④耐溶剤性、耐油性などを必要とする施設や設備への塗装は避けて下さい。
- ⑤濃彩色の場合、塗面を強く擦ると色落ちすることがありますので、ご注意下さい。
- ⑥刷毛・ローラーなどの塗装器具類は、他の塗料で塗装に使用するとハジキの原因になるおそれがあります。塗装終了後は速やかに洗うか、専用でお使い下さい。
- ⑦凍結の可能性がある場所では保管は避けて下さい。
- ⑧塗装後、最低3時間位の間は雨や水がかからないようにして下さい。

使用上の注意

弱溶剤の場合

引火性の液体で、危険有害性情報のある物質を含有していますので、取扱いには下記の注意事項を守って下さい。
※詳細な内容は、各製品の安全データシート(SDS)をご参照下さい。

●取り扱い上の注意

1. 火気のない局所排気装置を設けたところで使用して下さい。
2. 塗装中、乾燥中は換気をよくし、蒸気を吸込まないようにして下さい。
3. 取扱い中は、皮ふにふれないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用して下さい。
有機ガス用防毒マスク又は送気マスク、頭巾、保護メガネ、長袖の作業衣、えり巻きタオル、保護手袋等。
4. 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行って下さい。
5. 塗料の付いたウエスや塗料カス、スプレーダストは廃棄するまで水につけておいて下さい。
6. よくフタをし、40℃以下の一定の場所に貯蔵して下さい。
7. 子供の手の届かないところに保管して下さい。
8. 捨てるときは、産業廃棄物として処分して下さい。
9. 本来の用途以外に使用しないで下さい。
10. 容器は垂直に持ち上げて下さい。斜めに持ち上げると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。

水性の場合

取扱いには下記の注意事項を守って下さい。
※詳細な内容は、各製品の安全データシート(SDS)をご参照下さい。

●取り扱い上の注意

1. 取扱後は、手洗い及びうがいを十分に行って下さい。
2. よくフタをし、一定の場所に貯蔵して下さい。
3. 子供の手の届かないところに保管して下さい。
4. 捨てる時は、産業廃棄物として処分して下さい。
5. 容器は垂直に持ち上げて下さい。斜めに持ち上げると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。

●緊急時の処置

1. 火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器又は粉末消火器を用いて下さい。
2. 目に入ったときには、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
3. 誤って飲み込んだ時には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
4. 皮ふに付着した時には、多量の石けん水で洗い落とし、痛みや皮ふに変化等がある場合には、医師の診察を受けて下さい。
5. 蒸気、ガス等を吸込んで気分が悪くなった時には、安静にし、医師の診察を受けて下さい。
6. 容器からこぼれた時には、布で拭きとり、その布を水の入った容器に保管して下さい。 ⑥⑦

●緊急時の処置

1. 目に入った時には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
2. 誤って飲み込んだ時には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
3. 容器からこぼれた時には、砂などを散布した後に処理して下さい。 ①
(EXTRA万能アクアシーラー硬化剤およびSBライズコートアクアシーラー硬化剤においては、可燃性の液体を含みますので、弱溶剤形の注意事項をご参照下さい。)

※本カタログ値は、製品を適正にご使用頂くための代表値を記載したものです。

記載条件以外の場合は、事前にお問い合わせ下さい。

※本製品の内容は予告なく変更することがあります。ご了承下さい。

※本カタログに記載の内容について、無断転載・複製を禁じます。



DNT 大日本塗料株式会社

●東日本販売部

東京営業所 ☎03-5710-4501 ☎144-0052 東京都大田区蒲田5-13-23 (TOKYU REIT 蒲田ビル)
札幌営業所 ☎011-822-1661 ☎003-0012 札幌市白石区中央二条1-5-1
仙台営業所 ☎022-288-8866 ☎984-0011 仙台市若林区六丁の目西町8-1 (斎喜センタービル)
北関東営業所 ☎0480-26-5111 ☎346-0003 埼玉県久喜市久喜中央1-5-18 (辻屋ビル)
新潟営業所 ☎025-244-7890 ☎950-0912 新潟市中央区南笹口1-1-54 (日生南笹口ビル)
千葉営業所 ☎043-225-1721 ☎260-0015 千葉市中央区富士見2-7-5 (富士見ハynesビル)
神奈川営業所 ☎042-786-1831 ☎252-0233 神奈川県相模原市中央区鹿沼台1-7-7 (トラスト・テック相模原ビル)
静岡営業所 ☎054-254-5341 ☎420-0857 静岡市葵区御幸町8 (静岡三菱ビル)

塗料相談室 フリーコール 0120-98-1716 ^{いーないろ} https://www.dnt.co.jp/

●西日本販売部

大阪営業所 ☎06-6266-3116 ☎542-0081 大阪市中央区南船場1-18-11 (SRビル長堀)
名古屋営業所 ☎052-332-1701 ☎460-0022 名古屋市中区金山1-12-14 (金山総合ビル)
富山営業所 ☎076-444-5260 ☎930-0005 富山県富山市新桜町6-15 (Toyama Sakuraビル)
京滋営業所 ☎075-595-7761 ☎607-8085 京都市山科区竹鼻堂ノ前町46-1 (京都山科ビル)
姫路出張所 ☎079-226-5727 ☎670-0965 兵庫県姫路市東延末1-1 (姫路NKビル)
岡山営業所 ☎086-214-1852 ☎700-0034 岡山市北区高柳東町10-30
広島営業所 ☎082-286-2811 ☎732-0802 広島市南区大州3-4-1
高松営業所 ☎087-869-2585 ☎761-8075 高松市多肥下町1511-1 (サンフラーワ通り東ビル)
福岡営業所 ☎092-938-8222 ☎811-2317 福岡県糟屋郡粕屋町長者原東3-10-5